

やまぐちっ子学力向上だより

第 154 号 R6.12.5

山口県教育庁義務教育課

中学校版

山口県学力定着状況確認問題にこめた授業改善のメッセージ

前号に続き、本号では、中学校の山口県学力定着状況確認問題にこめた授業改善のメッセージの例を、いくつか紹介します。

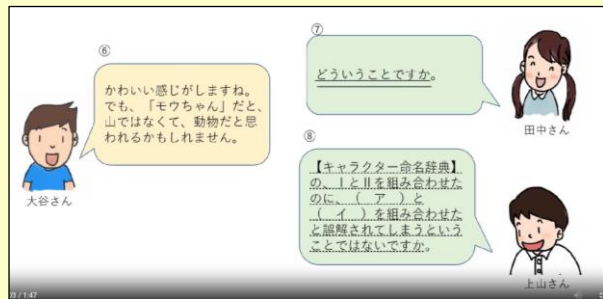
中学校国語

○話し合いの様子を振り返りながら、よい話し合いの仕方に気付くことができるようにする。

1・2年大問1（以下抜粋）

- ・「動画の田中さんの『どういうことですか』という発言の意図を選びましょう。」
- ・「動画のA部からD部の発言の中で、前の発言を受けて自分の考えを提案する発言について選びましょう。」

動画



「話すこと」「聞くこと」の授業では、「こうすれば上手く話せる、話し合える」という言葉に対する気付きをもてるようにすることが大切です。1人1台端末を使って撮影した話す・聞く活動の動画を活用することで、自分たちの活動の様子が振り返りやすくなり、それを手掛かりにして言葉に対する意識が高まることが期待できるでしょう。

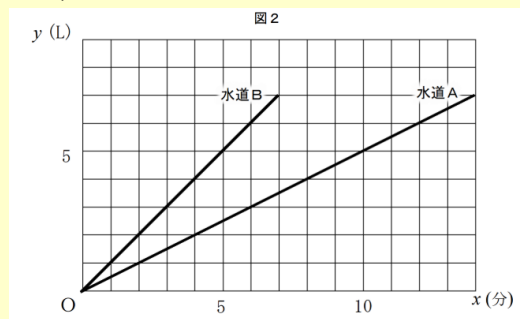
中学校数学

○考察するための方法を数学的な表現を用いて説明できるようにする。

2年大問5（以下抜粋）※1年大問7は類題

はるとさんは、空の水そうに、満水になるまで水道Aを使って水を入れました。あおいさんは、はるとさんの使った水そうと同じ大きさの形をした別の空の水そうに、水道Bを使って水を入れました。はるとさんとあおいさんは、それぞれの水そうに、それぞれの水道から同時に水を入れ始めました。入れ始めてから6分後に、水そうに入っている水の量の差が何Lであるかを求める方法を説明しなさい。

グラフ



数学の学習では、正しい答えを導くことも大事ですが、学習した一つひとつの知識をつなげ深く理解したり、考えを形成したりすることも大事にしてほしいところです。そのために、課題を解決するための方法を、生徒自身が数学的な表現を用いて説明する機会を重視し、日頃の授業の中で取り入れていきましょう。

中学校理科

○ある課題が解決しても探究の過程を振り返り、新しい課題が発見できるようにする。

2年大問5（以下抜粋）

中村さんは、キウイフルーツゼリーをつくったときに疑問に思ったことをもとに、ゼラチンや寒天の性質を調べたり、実験を行ったりして、レポートにまとめました。その後、【新たな疑問】をもちました。

【新たな疑問】

輪切りにしたキウイフルーツの上に、細長いゼリーを置いてしばらく時間をおいたところ、「皮に近い部分」、「種子の多い部分」、「中心部分」でゼリーの崩れ方に違いが見られた。

実験の様子



生徒自身が観察、実験を中心とした探究の過程を通じて課題を解決したり、新たな課題を発見したりする経験する機会を可能な限り増やしていくことが重要です。理科の面白さを感じたり、理科の有用性を認識したりすることにつながる学習過程を意識した授業づくりを行っていきましょう。

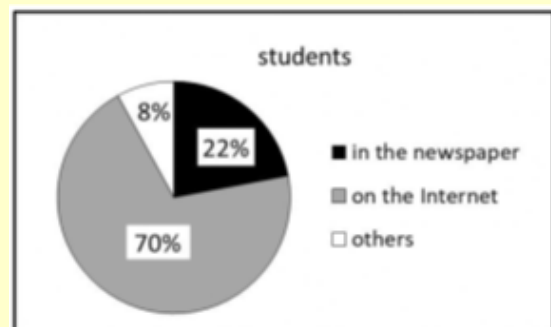
中学校英語

○知識・技能を統合的に活用する中で定着を図ることができるようにする。

2年大問10（以下抜粋）

外国語指導助手（ALT）のリー先生（Mr. Lee）が、アンケート調査をもとに授業で話をしています。生徒たちとの対話文の中の下線部②の質問に対するあなたの考えを、まとまりのある英文（4語以上）で書きなさい。

アンケート



Mr. Lee You read the news on the Internet, right? OK, tell me. ②What is good about the Internet?

生徒が「聞いたことをもとに話す」「読んだことをもとに書く」等、技能統合型の課題に取り組む機会を設定することが、パフォーマンスを通して知識・技能を定着させるという視点で効果的です。「聞く」「話す」「読む」「書く」といった活動に目的意識をもって取り組み、知識・技能を活用する経験を授業の中で生徒が積み重ねられるように学習課題を工夫しましょう。